

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	研究力向上セミナーⅡ (機械制御系)	
科目基礎情報							
科目番号	0020			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	システム創成工学専攻 (機械制御システムコース)			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
プレゼンテーションに効果的なスライドの作成方法およびそのスライドを用いたプレゼンテーション技術を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	右記に加えて、指導教員の求めに応じたスライドの加筆修正を迅速に遂行できる。			プレゼンテーションに効果的なスライドを作成できる。		プレゼンテーションに効果的なスライドを作成できない。	
評価項目2	右記に加えて、指導教員に代わって必要なプレゼンを行うことができる。			他者が理解できる解り易いプレゼンテーションができる。		他者が理解できる解り易いプレゼンテーションができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE基準 (d-2b) JABEE基準 (f) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 D-1							
教育方法等							
概要	技術者には、自然科学や工学に基づいて、問題解決する能力を求められる以外に、その解決プロセスも含めて、それらの結論を他者に理解させるプレゼンテーション能力が求められる。このセミナーでは、その機会の一つである学会発表を行う上で重要なスライドの作成、それらを用いたプレゼンテーションの実践、および、工学基礎研究もしくは地域創成工学研究の指導教員とのディスカッションを行う。これらの作業の中で、プレゼンテーションにおいて効果的なスライドの作成方法およびそのスライドを用いたプレゼンテーションの技術を習得することができる。						
授業の進め方・方法	ソフトウェアの機能を用いてスライドを作成する。自分で発表練習を行いながら、スライドを修正していく。						
注意点	何をどのように伝えるかを常に意識して作業を進めること。						
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	スライド作成		与えられた資料を用いてプレゼン用のスライドを作成できる。		
		2週	プレゼンテーション		スライドを用いてプレゼンできる。		
		3週	スライド加筆修正		プレゼンの結果からスライドを加筆修正できる。		
		4週	プレゼンテーション&ディスカッション		加筆修正したスライドで指導教員とディスカッションできる。		
		5週	スライド作成		与えられた資料を用いてプレゼン用のスライドを作成できる。		
		6週	プレゼンテーション		スライドを用いてプレゼンできる。		
		7週	スライド加筆修正		プレゼンの結果からスライドを加筆修正できる。		
		8週	プレゼンテーション&ディスカッション		加筆修正したスライドで指導教員とディスカッションできる。		
	2ndQ	9週	スライド作成		与えられた資料を用いてプレゼン用のスライドを作成できる。		
		10週	プレゼンテーション		スライドを用いてプレゼンできる。		
		11週	スライド加筆修正		プレゼンの結果からスライドを加筆修正できる。		
		12週	プレゼンテーション&ディスカッション		加筆修正したスライドで指導教員とディスカッションできる。		
		13週	スライド作成		与えられた資料を用いてプレゼン用のスライドを作成できる。		
		14週	プレゼンテーション		スライドを用いてプレゼンできる。		
		15週	スライド加筆修正		プレゼンの結果からスライドを加筆修正できる。		
		16週	プレゼンテーション&ディスカッション		加筆修正したスライドで指導教員とディスカッションできる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	スライド	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0